

# OGINO NEWS

省工程塗装特集

荻野ニュース平成26年冬号  
編集発行：荻野化成株式会社



## 今年の上期も忙しい! 省工程を提案して効率アップ!

皆様本当にお忙しい日々をお送りの事と存じます。昨年から今年にかけての爆発的な忙しさは消費税アップまでは間違いなく続くと思われまます。「誰か手伝ってくれる塗装屋さんいないかなあ?」ととても多くのお客様から尋ねられました。思い当たる塗装屋さんへ電話してみると「おお、丁度良かった。どっかに手すきの人がいない?」と逆に訊かれる始末。技術職である塗装職人さんが急に増える訳も無く、ならば出来るだけ早く現場を上げたいと思っても、工程は決まっています。おまけに冬は乾燥時間がかかるので、お手上げ状態という話も聞きます。・・・で、そんな時に限ってまた仕事の依頼が来たりする・・・。こんな時に役立つのが省工程スペックの数々です。登場以来かなり経っているものもありますが、施主さんが塗り回数にこだわる傾向があるので、実はまだメジャーなものではないんですよね。しっかりと事前説明が不可欠ではありますが、今回はそんな「実はとっても役に立つ省工程スペック」について特集しました。

### 3種ケレン+2工程でも強力な防錆力を発揮!

『パワー防錆 EP 039・AP 089』 (株)染めQテクノロジー



現在、橋梁や歩道橋の塗替えなどで広く採用されている防食塗装仕様といえば、「有機ジクロリッチペイント+弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料+弱溶剤ふっ素樹脂塗料中塗+同上塗」という工程で、下地処理は2種ケレン（錆・塗膜を全面除去して金属下地を出す）、塗り回数は4~5回という大変な作業です。一方、建築塗装では「3種ケレン（錆・不良塗膜を除去、活膜は残す）+弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料+弱溶剤ウレタンまたはシリコン2回」という3工程が主流ですが、周辺環境や施主・居住者の強い意向で、防食塗装なみの性能を求められるケースもあります。こんな現場で活躍するのが、この『パワー防錆』シリーズの『EP 039』と『AP 089』です。下地調整は3種ケレン以上で、下塗り039（エポキシ樹脂系）を1回、上塗り089（アクリル変性ウレタン）を1回の計2工程で終了。この場合の標準膜厚は150μです。ナノサイズ化された顔料が残存錆に浸透、覆い尽くして、水と酸素による腐食反応を防止します。この工法は国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS(ネティス)」で認定されていますので、WEBでもご覧いただけます。また同シリーズでラインナップしている『EP 1000』（エポキシ樹脂系）は、使用が屋内に限定されますが、1回塗り仕様も提案出来ます。屋内の立駐機などの工事に契めてみてはいかがでしょうか。資料のご請求は弊社担当者にお申し付け下さい。



### 無名ながら提案次第で利益を生む画期的な商材!

『ワンコートリフレDX』 神東塗料(株)



鉄部に比べると外壁塗料の省工程仕様は非常に数が少ないです。以前一部のメーカーさんに2工程の仕様がありましたが、今は一般ユーザー向けには供給していません。やはり省工程仕様の提案にはいくつかのポイントがあります。自宅の塗替えを発注する施主さんには、わざわざ塗り回数を減らす仕様は、余程の説明努力が無い限りメリットとして見出しにくいという事や、塗り回数減による塗装店側の工事単価の下落などがマイナス面として挙げられます。反面、発注側にとって幾分なりとも工事価格が安価となると共に、工期も短縮できる事がメリットとなります。なかなか自社の標準塗替えスペックとしては選択しにくい事も確かです。とは言え、外壁面の省工程商品が無い訳ではありません。多分、殆どの方がご存じないと思いますが、神東塗料(株)に1工程の外壁改修塗料が存在します。その名も『ワンコートリフレDX』です。名前通りに旧塗膜が活膜であれば何と1回塗りでの仕上げが可能。ただし標準塗付量が0.6~1.5Kg/m<sup>2</sup>という事からも分かる様に砂骨ローラー仕様のみであり、下地が活膜であっても吸い込みが多い塗膜(リシン面など)の場合は、『水性Mシーラー』を使用する必要があります。外壁はもちろん、階段室や天井面まで使用可で、乾燥後は微弾性を有する耐久性に優れた艶消し塗膜を形成します。設計価格は1600円/m<sup>2</sup>です。「どういう場面でどんな所に使えば利益になるか?」TPOを選ぶ塗料ではありますが、『ワンコートリフレDX』を覚えておいて頂ければと思います。



## 住宅屋根用省工程塗料の決定版！

大同塗料株式会社  
DAIDO CORPORATION

### 『ハイルーフマイルドシリコン』 大同塗料(株)

屋根用の省工程塗料として確固たる地位を築きつつあるのが、以前に特集でもご紹介した『ハイルーフマイルドシリコン』です。この塗料も基本的には2工程で、プレスセメント瓦で若干の凹凸がある場合にのみ下塗材（『水性ハイルーフアンダーガード』）を使用しますが、それ以外は各基材とも仕様書に指定された圧の高圧水洗を行い乾燥させればOKです。またもう一つの特徴として、各種基材に対しての適性が幅広いため、基材によって材料を区別し準備する手間が省けます。従来は一般の化粧スレート板（コロニアル・カラーベストなど）と、モニエル瓦では全く別々の塗料を使用していましたが、『ハイルーフマイルドシリコン』なら共に塗装可能です。加えて、従来は塗替えをお断りしていた陶器瓦（釉薬瓦・素焼き瓦）にも塗装出来ます。大体の屋根はこの『ハイルーフマイルドシリコン』だけで十分という事になります。化粧スレート・プレスセメント瓦・陶器瓦の塗替えで設計価格は2,300円/㎡(2工程)となっています。塗料のメーカーとして有名な大同塗料の製造するシリコン塗料である点を丁寧に説明して、自社の利益確保に使うのもよし、2工程である点を提示価格に反映させて相見積りの際の武器として頂くのもよしと、様々な可能性が考えられる屋根用塗料です。また余談ですが、屋根の現状を確認する際にこのカタログ(右上写真参照)を持って屋根に上ると大変便利です。基材の確認にも役立ちますし、施主さんに「お宅の屋根はこれこれで・・・」と、確認後にその場で説明できます。まずはご覧になってみて頂ければと思います。ご希望の方は弊社担当までお気軽にお申し付け下さい。



### その他の鉄部、床、木部の省工程塗料は？

その他、鉄部では、建築用として、関西ペイント(株)『パワーMレタンEX』、エスケー化研(株)『ワンツーマイルド』が有名。重防食のカテゴリーでは、関西ペイント(株)『ユニテクトシリーズ』、日本ペイント(株)『ハイボンダブルガード』など。床用塗料では主として新設の場合に、アクリル系防塵塗料ですが、直接2回塗りの商品として日本特殊塗料(株)の『ユータックAN』等、また、塗替えなら大同塗料(株)の弱溶剤ウレタン『床優美』等があります。木部は何回塗りを省工程と呼ぶべきかが難しいのですが、日本オスモ(株)の『オスモカラー』シリーズに屋内用の『ウッドワックス』と、屋内外兼用の『ワンコートオンリー』が、共に標準仕様1回塗りですので、省工程と呼んで差支えないと思います。それからご存じの方もいらっしゃると思いますが、米国の『ラストオリウム』も高い防錆力を持ち、省工程塗料の代名詞とも呼べる存在です。



### 商品情報

住友スリーエム(株) **3M**

鉄部ケレン作業を簡単・快適に！

### 『キュービットロンⅡ ロックファイバーディスク』

「鉄部のケレン作業の効率化」文字にするのは簡単ですが、現実にはそれほど易しいものではありません。ケレンを行う対象も様々ならケレンのグレードも様々です。これに伴いケレン方法も変わってきます。プラスト、各種電動工具、各種手工具、剥離剤、またはこれらを組み合わせて用いる場合まで多種多様です。研磨布やワイヤーブラシ、ケレン棒などの手工具は別にして、動力工具で最も普遍的に行われているのはグラインダーにディスクペーパーという組合せではないでしょうか。最も普遍的ではあるのですが、面倒な点多々あります。通常のディスクペーパーは中央のロックナットのせいでケレンする塗装面にペーパーをベタ当てる事が出来ません。またディスクペーパーを交換する際は専用工具でロックナットを外して、新しいペーパーを装着、再びロックナットを締めるという作業を都度繰り返す事になります。この度、住友スリーエム(株)が開発したシステムは、お使いのグラインダーに専用アタッチメント(ディスクパット28742EH)を装着する事で、工具無しでディスクペーパーの脱着が出来るという画期的なものです。上の写真でお分かり頂ける様にペーパー側に特殊樹脂製の雄ネジが付いており、これをアタッチメント側の雌ネジにねじ込んで手で回すだけで装着完了です。この仕組みを特殊セラミック砥粒使用のファイバーディスクに適用して、脱着の容易さに加え、ケレン時のベタ当てを可能として、更に塗料の粘りを押さえて目詰まりしにくい設計とすると共に、作業スピードUPを図っているのが『ファイバーディスク982C』です。まずは一度お試しください。



お問い合わせは

### 荻野化成株式会社



横須賀本社 電話 046-834-1611

横浜支店 電話 045-830-5871

青葉営業所 電話 045-937-5505

東京営業所 電話 03-5480-1666

茨城営業所 電話 029-879-7906